

# みんなで取り組むイノシシ対策

大津市内の複数の地域でイノシシ被害が増加しています。

大切に育てた野菜を食べたり、庭先を掘り返したりなど、様々なトラブルを起こしています。何もしないと、どんどん好き放題するようになってしまいます。

イノシシの被害を減らすためには地域全体で対策に取り組まなければなりません。

## ■イノシシはどんな動物？

### ①生態

- ・昼夜を問わずエサを求めて活動する。本来は昼行性だが、人間の影響の少ない夜間に活発に行動する。
- ・雑食性で人間の食べるものは何でも食べる。味が濃厚で甘みの強いもの（芋や根茎、タケノコなど）を好む。農作物以外にも昆虫やミミズ等も好んで食べる。
- ・行動範囲は基本的に2～3平方キロだが、時期によって広がる。定着と移動を繰り返す。
- ・メスは子供や姉妹と群れを作る習性を持つ。オスは単独行動だが、交尾期にメスの群れに入る。縄張り意識は低い。
- ・交尾期は12～2月頃、年1回で、出産期は4～6月頃。毎年2～7頭を出産する。野生での寿命はオス6年、メス10年前後。

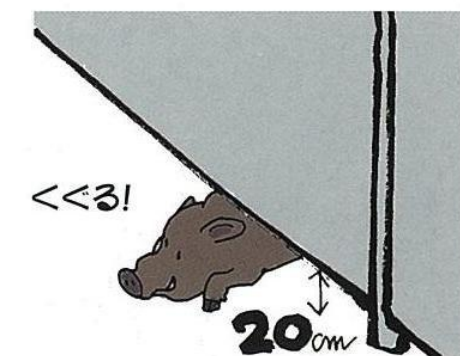
### ②特徴

- ・いわゆる「猪突猛進」はパニックになって逆上した姿であり、本来は警戒心が強く臆病な性格。人前にはあまり姿を現さない。記憶力が良く侵入に成功した仲間の行動を真似するなど、高い学習能力がある。
- ・主に通りなれた「けもの道」を移動する。
- ・鼻は敏感で周囲の臭いや感触を探るために使われるほか、70キロの岩を動かせるほどの力があり、地面を掘り返すことも出来る。
- ・跳躍力に優れ、助走なしで1メートル、よじ登ることが出来れば2メートルもの高さを乗り越える。また、20センチの隙間を潜り抜ける柔軟さも併せ持つ。
- ・体毛は剛毛で電気を通しにくく、鼻と腹以外は殆ど感電しない。

### ③被害作物

主に根菜類と乳熟期以降の水稻、竹の子が食害される。水稻では踏み荒らしとヌタウチ（泥あび）による稲穂の倒伏被害がある。また、ミミズを探してあぜ道を荒らす掘り返し行為による被害も大きい。

#### イノシシの身体能力



# イノシシから生活を守る

## ■イノシシに出会わないためには

### (1) 人間の存在を知らせる工夫をしましょう

- ・音や光で人がいることを知らせる

### (2) 絶対にエサを与えない

- ・餌付けをしない
- ・イノシシのエサ場をつくらない
- ・ゴミ出しマナーの徹底

イノシシはエサ場を覚えています。家庭菜園や田畑の周りに野菜クズなどを放置しないでください。ゴミは収集日の朝に指定された場所に出しましょう。人がエサを与え、安全であることを学習したイノシシは人を襲うことがあります。

イノシシを呼び寄せない環境づくりをしましょう。

## ■イノシシにもし出会ってしまったら

### (1) イノシシを刺激しない

見かけても、刺激を与えず、興奮させないことが大切です。棒などを使って追い回したり、石を投げたりしないで下さい。

### (2) ゆっくりと後ずさり

イノシシがこちらに気づいていない、イノシシとの距離が十分ある場合、静かにその場を立ち去りましょう。

もし、イノシシが近づいてきた場合、あわてずにゆっくりと後ずさりして離れましょう。また、物陰に身を隠す、木に登るなどして、安全を確保しましょう。

# イノシシから農作物を守る

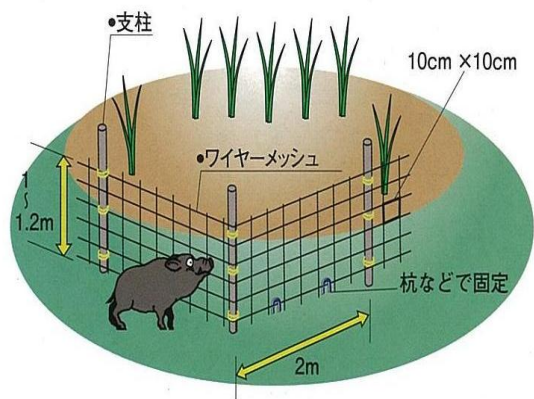
## ■集落に近づけない、集落や田畑をエサ場にしない

・畑や水田を見通しの良い場所にし、田畑に接近させないようにする。周りの休耕地や藪を刈り払い、管理していない竹林も片付ければこっそりと近づく「けもの道」もなくなる。

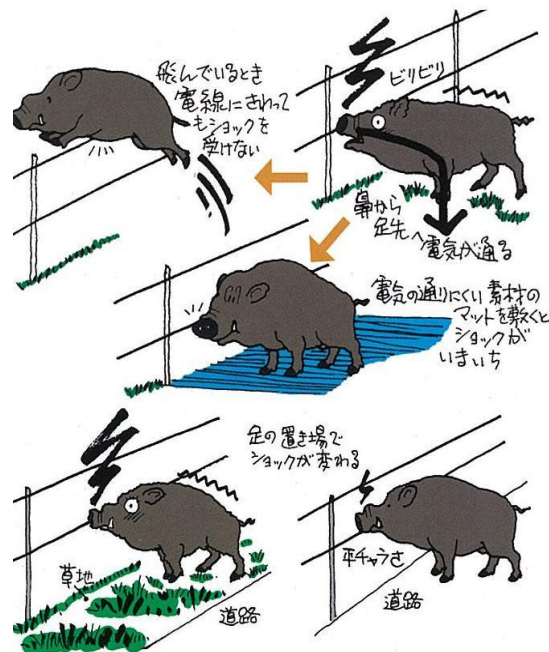
※イノシシはタケノコが好物です。特に山と集落との境にある放置竹林が、寝床と餌場になっています。

## ■柵で防ぐ

- ・イノシシによる最も多い柵破りは地際をくぐり抜けることです。柵の持ち上げ、くぐり抜けには十分に注意してください。



ワイヤーメッシュを使った柵の設置



せっかくの電気柵もイノシシが地面に足を着けていないと効かない